

別府大学紀要

第 17 号

目 次

古代文学におけるホメロスの伝統 (1)	佐藤 義 詮	(1)
『監郡右置』と『執睨録』		
—近世地方村落支配者の政治志向	後藤 重 巳	(7)
漱石の俳句		
—その発展と回帰—	倉田 紘 文	(18)
唱導文学にあらわれた神		
—安居院流の唱導書を中心に—	安東 大 隆	(27)
<hr/>		
考古学よりみた古代の中津平野		
—須恵瓦と百濟寺、長谷寺銅造観音立像の背景—	賀川 光 夫	(1)
女紅場の研究 (2)		
—市中女紅場を中心に—	坂本 智恵子	(9)
Peire Cardinal (1)		
—アルビ十字軍期の詩—	井上 富 江	(32)
幼児・児童における認知スタイルの分析的研究	山崎 晃	(42)
一般生物学における人類の位置	二宮 淳一郎	(49)
市販挽肉の細菌汚染に関する研究	末宗 淳二郎	(58)
<hr/>		
ペーター・カールシュテット「図書館社会学研究」		
—歴史社会学について (2)—	加藤 一 英	(65)

1976年1月

別 府 大 学